

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター中期目標

前文

山武長生夷隅保健医療圏は、県内他地域に比べ、主要疾病(がん、心疾患、脳血管疾患等)による死亡率が高く、医師、看護師等の医療従事者も少なく、また、三次救急医療機関がないことから重篤救急患者は他の医療圏に依存しているなど、医療環境が厳しい地域である。とりわけ、救急患者の管外搬送率が高く、救急医療を中心とした医療提供体制の整備は不可欠となっている。

東金市及び九十九里町は、「東金九十九里地域医療センター事業計画」を定め、千葉県の財政面をはじめとする包括的支援と千葉大学医学部・同附属病院の協力のもと「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターによる東千葉メディカルセンター（以下「メディカルセンター」という。）」を設置することとした。

このメディカルセンターは、地域における医療機関相互の連携体制を確保し、救急以外の疾病に対しても当地域はもとより千葉県における中核病院としての役割を担うことで、「患者の権利を尊重し、救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として地域住民に信頼される高度で安全な医療を行う」ことを基本理念としている。

本中期目標は、メディカルセンターを設置し、運営する「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター」が開院までに行うべき業務運営に関する目標を定めるものとする。

第1 中期目標の期間

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター設立の日から平成26年3月31日までとする。

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

1 メディカルセンターの医療機能

- ・救急医療（一次・二次・三次）・急性期医療を核とした医療の提供
- ・救命救急センターの併設
- ・診療科22科・病床数314床（平成28年度）
- ・千葉大学医学部・同附属病院との密接な連携の構築
- ・4疾病4事業等政策医療への対応

上記についての医療機能を確保すること。

2 メディカルセンターの施設整備

- ・千葉県東金市丘山台三丁目 6 番 1、6 番 2、7 番 1 の一部、7 番 2 を用地として取得し、メディカルセンターの医療機能を発揮するために必要な設計及び建築を行うこと。
- ・病院本棟のほか、医師看護師宿舎、保育所、ドクターヘリ・ヘリポートをメディカルセンターの機能が発揮できるよう整備すること。
- ・災害時も含め継続した医療機能の確保ができる施設とすること。
- ・臨床研修及び学生教育を十分に行うための施設とすること。
- ・将来の環境変化に柔軟に対応できる施設とすること。
- ・ユニバーサルデザインの導入を図ること。
- ・医療機能を確保しつつ、業務の効率化を図れる施設とすること。
- ・環境負荷の低減に配慮した施設とすること。
- ・上下水道その他既存のインフラを活用すること。
- ・三次救急医療機関として救急医療が迅速かつ円滑に行える施設配置とすること。
- ・病院の立地を考慮した駐車場の確保や、公共交通へ対応したロータリー等の整備を行うこと。
- ・ドクターヘリ・ヘリポートは、離着陸に伴う安全空域の確保と地域環境に配慮した配置とすること。
- ・病院本棟は、災害応急対策活動に対応できるよう耐震安全性を確保すること。

3 メディカルセンターの設備整備

- ・高度な専門医療の提供と安全・安心の医療を継続的に行うため、信頼性・安全性が確保された設備とすること。
- ・臨床研修及び学生教育を十分に行うための設備とすること。
- ・災害発生時にも、医療の重要度に応じて病院の機能を維持できる設備とすること。
- ・医療環境及び衛生環境を適正に維持し、併せて快適性にも留意しつつ省エネルギーへの対応をしたものとする。
- ・磁気共鳴診断装置やコンピュータ断層撮影装置等の医療機器整備については、必要とされる医療機能に対応しつつ、建築への影響や経営に対する費用対効果を踏まえて整備すること。

4 メディカルセンターの人材確保

(1) 人材の確保

救急医療・急性期医療を核とした地域中核病院として十分機能し、かつ4疾病4事業への対応も十分行うために、医師、看護師、医療技術員、事務職等のあらゆる職種及び階層において、当メディカルセンターの理念を実現するために医療機能に応じた必要な人材を確保すること。

また、そのための有効な手段として、千葉大学医学部・同附属病院と共同の臨床教育システム（千葉大学医学部附属病院九十九里地域臨床教育センター（仮称））を応用した医師派遣システム等の具体化に向けた取り組みを行うこと。さらに看護師確保については、一般病棟入院基本料の7対1入院基本料の算定に対応できるよう早期に募集体制や確保のための諸制度を整えること。

これら人材の確保については、開院初年度予定病床数146床に対応するものであること。

また、将来に向けた看護師の育成と安定的な確保を図るため、東金市及び九十九里町と協議のうえ、地域教育機関等との連携を図ること。

(2) 開院に向けた教育研修体制の整備

開院前における医師・看護師等の確保と並行し、これらの者が開院直後から円滑に医療を提供できるための教育研修の体制、システム等を整備すること。

5 医師会や地域の医療機関等との連携

メディカルセンターの整備に併せ、医師会や地域公立病院等との連携や役割分担のあり方について協議し、地域の医療環境の向上を図ること。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

1 効率的で財政上も健全な運営手法の確立

充実した医療の提供と医師・看護師等が働きやすい環境を整えるとともに、効率的、かつ財政上も健全な運営を確立するため、ITシステムや外部委託の有効活用を図ること。

2 魅力ある人事・給与制度の確立

高度で専門的な医療を提供していくためには優秀な人材を確保する必要がある、能力や成果を反映した魅力ある人事・給与制度を確立すること。

3 会計制度の整備と運用

病院事業として適正な経理、運用が図れる会計制度を早期に整備すること。

第4 財務内容の改善に関する事項

1 健全な経営基盤の確立

(1) 権限と責任の所在を明確にした組織の確立

高度な専門性を有する様々な職種により成り立つ病院組織が有効に機能す

るため、権限と責任の所在を明確にした組織体制を確立すること。

(2) 経営情報システムの構築

健全で効率的な経営を確立するために、経営判断や意思決定に資する有効な経営情報システムの導入計画を立て、開院前までに必要な整備を図ること。

2 支出の適正化

(1) 建築関連

メディカルセンターに必要な機能や効率性を確保しつつ、イニシャルコスト及びトータルライフサイクルコストの視点からその妥当性に留意すること。特に公立病院改革ガイドラインに基づく整備費の抑制の方針を順守すること。

(2) 人件費関連

質の高い医療を提供し、かつ円滑な開院のために必要な人材確保を行うとともに、人件費に関する支出の適正化を図ること。

第5 その他業務運営に関する重要事項

1 実施スケジュールの確立

平成26年4月1日の開院を目指し、地方独立行政法人としての実施体制の整備、建築に係る設計・施工、医師・看護師等の人材確保、その他必要な事項についてスケジュールを確立すること。

2 財政負担の原則

メディカルセンターの整備に係る事業費を125.71億円と予定し、これに対応する東金市及び九十九里町からの出資金、負担金、貸付金等及び国・県からの補助金等により事業を行うこと。

3 地域に対する広報

メディカルセンターの理念や役割を広報し、地域住民の理解を深めること。